

社会福祉施設の労働災害 大幅に増加

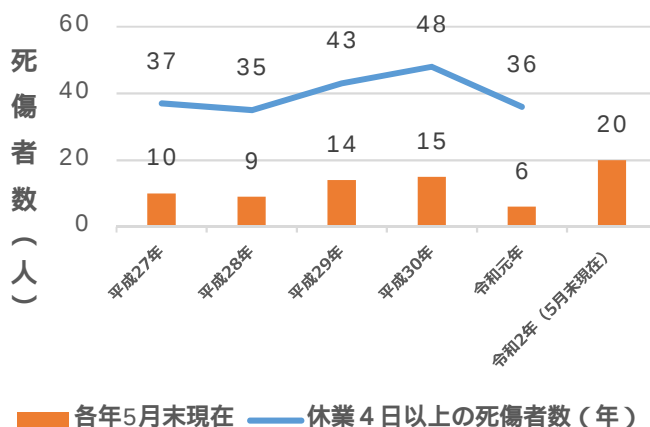
鳥取県内の社会福祉施設の労働災害（休業4日以上死傷者数）は、令和2年5月末現在の速報値で20人となり、前年同期の6人に比べ、**14人（233%）もの大幅増加**となっています。

また、平成27年以降、**5月末としては最も多い状況**にあります。

年齢別では、**60歳以上の労働者が全体の40%**を占めています。

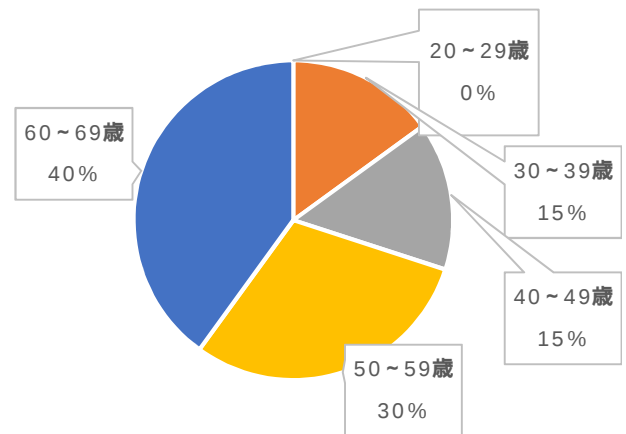
社会福祉施設労働災害発生状況

（鳥取県内）



社会福祉施設 年齢別労働災害発生状況

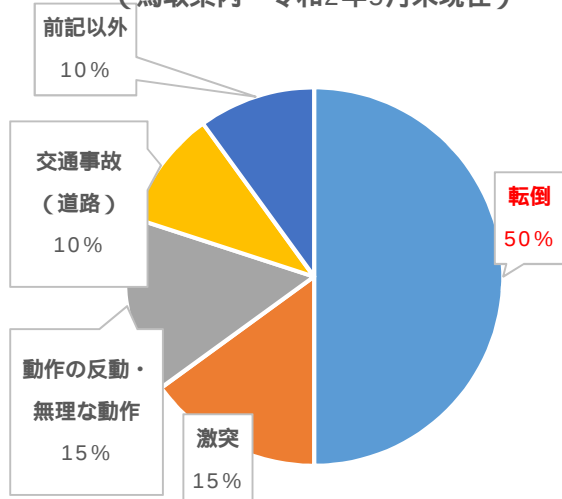
（鳥取県内 令和2年5月末現在）



労働災害のうち**半数が転倒災害**です。**転倒災害**を年齢別にみると**60歳以上の労働者が60%**を占めています。

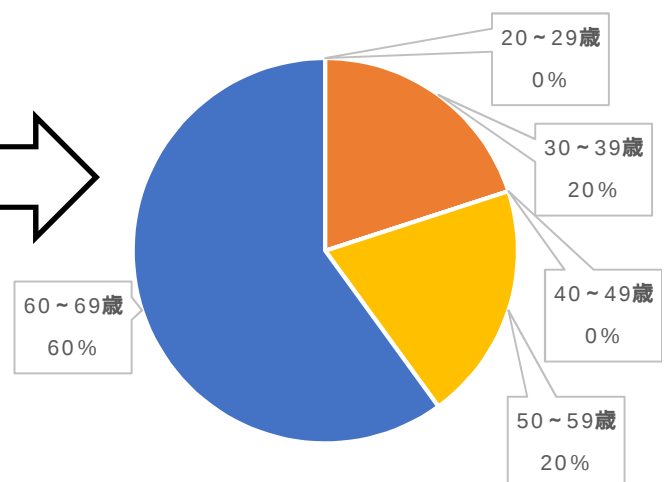
社会福祉施設労働災害発生状況

（鳥取県内 令和2年5月末現在）



社会福祉施設 年齢別転倒災害発生状況

（鳥取県内 令和2年5月末現在）



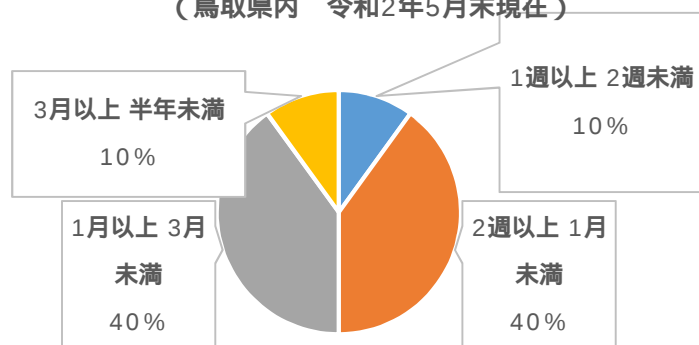
厚生労働省、鳥取労働局のホームページに、次の項目をはじめ各種リーフレットなど参考資料を掲載していますので、活用をお願いします。

- ・STOP！転倒災害プロジェクト
- ・エイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）

【鳥取労働局】

社会福祉施設 転倒災害休業見込日数

(鳥取県内 令和2年5月末現在)



転倒災害を休業見込日数別にみると、1か月以上の長期にわたるものが全体の半数を占めています。

転倒災害 事例

滑り

駐車場を歩行中、地面が凍結していたため滑って転倒した。

荷物を運搬中に、雨でぬかるんでいた傾斜地で足を滑らせて転倒した。

雨の中、傘をさして歩行中に、20cm程度の段を降りたときに足を滑らせて転倒した。

廊下に雨が吹き込んでいたため、滑って転倒した。

つまずき

掃除中に駐車場の車止めにつまずいて転倒した。

子供を追いかけたときにつまずいて転倒した。

利用者宅の駐車場の坂道で足が引っかかって転倒した。

転倒災害の種類と主な原因

滑り	つまずき	踏み外し
<主な原因> - 床が滑りやすい素材である。 - 床に水や油が飛散している。 - ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。	<主な原因> - 床の凹凸や段差がある。 - 床に荷物や商品などが放置されている。	<主な原因> 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。

転倒災害防止対策のポイント

4 S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法 「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」	その他の対策
- 歩行場所に物を放置しない - 床面の汚れ(水、油、粉など)を取り除く - 床面の凹凸、段差などの解消	- 時間に余裕を持って行動 - 滑りやすい場所では 小さな歩幅で歩行 - 足元が見えにくい状態で作業しない	- 作業に適した靴の着用 - 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 - 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起